

事務事業評価シート(事後評価)

事業コード 09-01-01	事務事業名 良好な景観づくり事業	所管部課 都市整備部 都市計画課
-------------------	---------------------	------------------------

施策コード 安1-1	施策名 住みやすい住環境の創造	施策目標 市民、事業者及び行政が協働し、計画的にまちづくりを進めることにより、住みやすい暮らしの空間を創ります。
---------------	--------------------	---

事務事業の概要	事務事業の目的	街並み全体の景観形成を誘導するため、既存のまちの文脈と大きくかけ離れることのないように「ヒューマンスケールのまちづくり」に留意し、地域の将来景観イメージに沿った建築物ができるように規制・誘導することを目的とする。	根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等／補助の概要	補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等 ※該当する予算事業名・節目を明記する	
		「道路整備に伴う用途地域の見直しに合せた地区計画」、「絶対高さ制限を定める高度地区・特別用途地区・敷地面積の最低限度」、「建築協定から地区計画への移行」について、優先順位等を整理した上で、各手法・各地域の具体的なスケジュールを検討し都市計画の見直しの推進を図る。 平成22年度までは「ひばりヶ丘駅北口地区」、「事業中の都市計画道路沿道地区」について事業を進めており、平成23年度からは「東大農場周辺地区」を含めて事業を実施する。	
	事業開始時期	19 年度	実施形態 <input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ( )

項目	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
事業費(A)		6,720	6,720	6,678	13,795
財源内訳	千円				
国庫支出金・都支出金		0	0	0	0
地方債		0	0	0	0
その他 ( )		0	0	0	0
一般財源		6,720	6,720	6,678	13,795
所要人員(B)	人	1.5	1.5	1.5	2.5
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	12,248	12,120	12,120	20,413
臨時職員賃金等(C')	千円	0	0	0	0
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	18,968	18,840	18,798	34,208
単位当たりコスト (E)=(D)/(地区計画決定数)	千円	0	0	0	0

活動等指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
①説明会等	実績値 日	7	14	0	0
②まちづくり通信の送付	実績値 回	0	6	1	
《指標の説明・数値変化の理由 など》 地区計画策定に向けた説明会等の開催日数、制度内容や進捗状況等を報告するためのお知らせの送付回数。「ひばりヶ丘駅北口地区」について、これまでの検討内容により、平成22年度から関係機関協議に移行したため、説明会等の回数が減少した。					
成果指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
一 地区計画決定数	目標値 地区	0	0	0	2
	実績値 地区	0	0	0	
二	目標値				
	実績値				
《指標の説明・数値変化の理由 など》 ひばりヶ丘駅北口地区地区計画の策定、現在事業中の都市計画道路について、優先順位を検討し沿道の地区計画を策定することが目標となる					

事業環境等	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)		ひばりヶ丘駅北口の地区計画にあたり、平成22年度に実施したパブリックコメントでは、ひばりヶ丘駅南口の大型商業施設と北口の建物のアンバランスさが独特の街並みを作っているため、その調和を守っていく必要があるという意見や、壁面の後退に関する疑問点などが寄せられた。
	都内26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	<input type="checkbox"/> 上 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下	各市とも必要に応じ実施している。
	代替・類似サービスの有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	地区計画の策定や都市計画の変更に関し、類似サービス等はない。

事業コード 09-01-01	事務事業名 良好な景観づくり事業	所管部課 都市整備部 都市計画課
-------------------	---------------------	------------------------

施策コード 安1-1	施策名 住みやすい住環境の創造	施策目標 市民、事業者及び行政が協働し、計画的にまちづくりを進めることにより、住みやすい暮らしの空間を創ります。
---------------	--------------------	---

【一次評価】

検証項目	ランク	一次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等	
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	
	事業の 必要性	3		
	事業主体の 妥当性	3		
B	直接のサービスの 相手方	2		<p>ひばりヶ丘駅北口周辺は、建物が密集し狭い道路や行き止まり道路が多く、防災上の危険が高くなっている。また、幹線道路や生活道路などの基盤整備が遅れているため、駅前まで路線バスが入れないなど、防災や交通安全、利便性の面で問題を抱えている。今後地区計画を決定していくため、継続して実施していく必要がある。</p> <p>事業中の都市計画道路沿道の地区計画についても、現在関係機関と協議を進めているが、対象路線が複数あるため優先順位をつけ、順次進めていく必要がある。</p> <p>事業を進めるにあたり、説明会の開催やパブリックコメントの実施により、市民意見の把握に努めている。</p>
	事業内容等の 適切さ	3		
	受益者負担の 適切さ	3		
C	市民ニーズの 把握	3		

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【二次評価】

検証項目	ランク	二次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等	
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	
	事業の 必要性	3		
	事業主体の 妥当性	3		
B	直接のサービスの 相手方	2		<p>住みやすいまちづくりを計画的に進めるためには、地区計画の作成は必要なことと考える。地域主権の動向を見据えながら、都市計画道路沿道地区における用途地域の見直し等、広域的な対応が必要なものについては従前どおりの東京都による対応を働きかけていくことも検討するとともに、東大生態調和農学機構周辺地区など地域性の強いものは地域での合意形成を図り、丁寧な事業進捗を図りたい。</p>
	事業内容等の 適切さ	2		
	受益者負担の 適切さ	3		
C	市民ニーズの 把握	3		

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>地区計画の作成は、住みよい住環境を整備する上で重要である。地域主権戦略大綱に基づく権限移譲により、基礎自治体の権限の範囲も広がる。これまで以上に市民に対する情報提供や意見の聴取に丁寧に対応されたい。</p>